

# 河田正一市政ニュース

2014.4.13 No.38

発行人 河田正一

岡山市北区御津高津874

☎ 086-724-0895

http://k.okjcp.jp/

## 2月議会で、最初の質問者として代表質問しました。

大森市長になって最初の予算です。過去最大、大幅に建設事業が増える（普通建設事業費は38・7%増）予算です。



質問する河田正一議員

### ○ 財政中期計画の公表を

大型事業や市有施設耐震化等で予算が増え、起債が増えている。起債は長期にわたり返済するので、中長期の財政見通しが必要だ。

### ○ 財政状況を見直し

5年先まで明らかにしている。しかし、市民や議会の理解が得られるように検討する。

### ○ 人間らしい働き方を

首切りの自由化、非正規化、残業代なしなどの

労働法制の一層の緩和で、人間らしく働けなくなっている。市内の経済界に正社員を採用し、賃金を上げるように働きかけてもらいたい。市議団

が取り組んでいる「雇用アンケート」で市の臨時職員は手取り11〜12万円です。これでは結婚も子育てもできない。官製ワーキングプアをなくすべし。

### ○ 賃上げは労使間で決まるものだ。臨時職員の賃金は地域の状況を見て判断をする。

岡山市の国保料は政令市で12番目の高さだ。1世帯当たりの基準所得は13番目だ。国保料の所得に占める割合は16・5%であり、岡山市の保険料が特に低くはない。だから値上げをすべきではない。

### ○ 国民健康保険料

現在29・8億円の繰り入れをしている。そのまま推移すれば60億円

の赤字になる。政令市で3番目に岡山市の一人当たり医療費が高い。

### ○ 保育園増設

保留児が900人もいる。何園増やすのか。

### ○ 8園増やし、500人受け入れ児を増やす。

県下最低の子どもの医療費無償の拡大を。

### ○ 子どもの医療費

拡充の必要性は認めている。無償化するかどうかは財政、医療機関、システム改修などを考慮し、有識者会議を開き方針を決める。

市の手数料・利用料は消費税を納めなくてよい、転嫁をやめることはできないか。

国の通達があるの

で転嫁する。

### ○ 医療費窓口負担2割

新年度から70歳になると医療費の窓口負担が1割から2割になる。受診抑制で重症化する恐れがある。市は財政削減をどのくらい見込んでいるのか。

70歳以上の負担は34億円だ。2割負担になると市の負担は変わらず、国の負担が減る。

介護保険が改悪され、軽度者は介護保険から切り離し、地域総合支援事業にする検討がされている。また、特別養護老人ホームには介護度3以上しか入れられない動きがある。何人が該当するか。

要支援1は4、600人、2は5、000人、うちデイサービス利用者は2、500人。在宅の特養待機者2、408人で、うち要介護1は433人・2は699人。

「学びの共同体」いくつかのまちで成果を上げている。岡山市も「協同学習」が行われ、いい教育を実践している。全国学力テストは過度に競争をあまり、学校間の順位重視のゆがんだ教育になる。

競争教育と学力テスト

競争教育と学力テスト

共同の学びはいい面がある。学力テストは参加し、結果の公表は学校の格差づけにならないよう配慮して行う。

### ○ 市民美術展

昨年からは始まった市民美術展の評価は。地域公民館発表作品も応募させたらどうか。

応募が減っている。応募者を増やすよう広報を強化する。公民館作品の応募は検討する。

スポーツ施設の充実のため、学校園庭の夜間照明、硬式野球ができる施設の増設を求める。

現在中学校区に1つの夜間照明施設を2か所目も認める。硬式野球ができる施設の方向性を示す。

中心市街地回遊

県庁通り、西川筋の社会実験の目的は。

「人優先のまちづくり」にするための社会実験で、活性化がどのようになれるのか研究するため。

中心市街地回遊

中心市街地回遊

中心市街地回遊

中心市街地回遊

中心市街地回遊

中心市街地回遊

中心市街地回遊

## ○イオンモール駐 車場

平均滞在時間を1時間45分と計算しているが、幕張ではどのくらい滞在しているか。駐車場は2500台では不足し、周辺道路が渋滞する。

**答** 幕張はモノでなくコトを売る施設。滞在時間は平均3〜4時間。渋滞緩和のため、右折レーン増設、公共交通の利用等渋滞緩和を協議している。

## ○市営バス駐車場

団体が利用する駅南バス駐車場のトイレと待合室設置はどうなっているか。

**答** トイレを増設、洋式トイレを新設した。待合室を移設する。女性トイレ前に目隠し板を設置する。

## ○ノンステップバ スの増車

障がい者や足の不自由な人が乗りやすいノンステップバス的大幅な増車をすべき。

**答** 路線バスは総数327台でその内ノンステップバス9台を増やし、33台となり、バス全体の

1割強となります。ワンステップバスは101台です。

## ○新斎場は地元理解 が得られていない

馬屋上学区、富吉町内のいずれも過半数が反対している。これでは地元理解が得られていないと言えない。

**答** 富吉町内会総会で可決している。決議を覆したと(町内会長から)聞いていない。

馬屋上学区の全戸訪問は、挨拶と斎場の必要性、選定の経過を説明した。候補地(産廃処分場跡地)の安全性について一定の理解を得たと思っていない。署名の多少では判断しない。町内会総会での判断による。



産廃処分場について勉強する馬屋上の人たち

## ○下関産廃講演会

2月5日、山口県下関市で産廃処分場建設反対で裁判で争っている「日野川流域産廃処分場反対会議」に招かれて御津虎倉産廃裁判について講演に行きました。ここでは建設業者が下関市内の建設を一度はあきらめたが、場所をすぐ隣の美祢市に移して建設をしました。

日野川の元の計画地より少し上流になります。しかし、開設からわずか2か月で基準値を上回る水質汚染を引き起こし、現在停止処分を受けています。住民は廃止に追い込もうと訴訟を起こし、現

在広島高裁で係争中です。2月3日に結審する予定でしたが、延期になりました。御津虎倉の判決が影響したのではないかと思います。



下関での講演

## ○日生産廃講演会

兵庫県赤穂市に204万㎡の管理型処分場計画が持ち上がりました。海のすぐそばの碎石場跡地です。岡山県境のすぐそばで、汚染水が流れ出せば、日生漁協の養殖カキ筏に被害が出るところです。赤穂市の住民は関心が今一つ盛り上がって

ません。それは、計画地に行く道は狭く通行するのには支障が出ますが、計画では海から船で直接陸揚げするようですので、被害は海の漁場に集中するからです。2月15日、赤穂市で反対運動を起した人と私が講演しました。

## ○笹が瀬高層マンション着工

14階建てマンション計画に笹が瀬町内会が反対を決めました。しかし、業者は地元との話し合いに応じず、工事に着手しました。岡山市が地元から出されていた不服審査を棄却したため、「建設を考える会」は東京のADRに審査請求する予定です。



反対ののぼりが林立する笹が瀬町内

## ○市政報告会

2月6日、津高公民館で市政報告会を開きました。会場は椅子が足りなくなるほどの盛況でした。このほか、議会が終わるごとに日本共産党市議団は各区ごとに全員で報告会を開催しています。



津高公民館での市政報告会

## 市政報告会のご案内

●4月26日13時30分〜

高松公民館

市議5人がそろって報告します。